

最終需要・中間需要物価指数 2020 年基準改定結果

日本銀行調査統計局では、わが国における財・サービスの需要段階別物価指数である最終需要・中間需要物価指数（Final Demand-Intermediate Demand price indexes：FD-ID 指数）を、サテライト指数として、2022 年 6 月より月次で公表しています¹。今般、最終需要・中間需要物価指数の 2020 年基準改定（現行の 2015 年基準指数から 2020 年基準指数への移行）を実施し、7 月 29 日に公表を予定している 2025 年 6 月分より、2020 年基準指数の月次公表を開始します。本資料では、2020 年基準改定結果についてお知らせします。

1. 2020 年基準改定の概要

最終需要・中間需要物価指数では、総務省『産業連関表』の列部門（財・サービスの個別部門）を、わが国の生産フローと整合的なかたちで 4 つの中間需要段階（生産フローの川上からステージ 1、ステージ 2、ステージ 3、ステージ 4）に区分するとともに、中間需要物価指数（Intermediate Demand price indexes：ID 指数）および最終需要物価指数（Final Demand price index：FD 指数）の作成に用いるウエイトを算定しています。2024 年の『令和 2 年（2020 年）産業連関表』公表を受けて、個別部門のステージ区分およびウエイト算定を行い、今般、基準年を 2015 年から 2020 年に切り替えます。

なお、2020 年基準 最終需要・中間需要物価指数の基準年である 2020 年は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年であったことを踏まえ、ステージ区分およびウエイト算定に用いる取引額には、特例として、2019 年と 2020 年の平均値を採用しました²。

2. ステージ区分の算定結果

新基準における『産業連関表』に基づく生産フローと最も整合的となるステージ区分の閾値は、現行基準の $(X, Y, Z) = (70, 65, 60)$ から、 $(X, Y, Z) = (75, 70, 55)$ に変化

¹ 後述するステージ区分やウエイト算定の方法など、最終需要・中間需要物価指数の詳細については、以下の資料で解説しています。

日本銀行調査統計局「2020 年基準 最終需要・中間需要物価指数（FD-ID 指数）の解説」

² 詳細は、脚注 1 に記載の解説を参照。なお、こうした対応は、2020 年基準 企業物価指数（Corporate Goods Price Index: CGPI）および 同 企業向けサービス価格指数（Services Producer Price Index: SPPI）等と同様です。

しました³。ステージ区分の算定結果を子細にみると、394 部門のうち、ステージ区分が現行基準から不変のものが 326 部門、変化したものが 66 部門（うち、隣接するステージに移動したものが 62 部門）、新たに最終需要・中間需要物価指数の集計対象となったものが 2 部門でした⁴。

3. ウエイトの算定結果

新基準における中間需要段階の各ステージおよび最終需要段階に適用するウェイトを現行基準と比較すると、すべての需要段階において、財のウェイトが低下し、サービスのウェイトが上昇しました（図表 1）。

4. 使用している品目指数の数の変化

最終需要・中間需要物価指数では、企業物価指数（CGPI）、企業向けサービス価格指数（SPPI）、総務省『消費者物価指数』（CPI）の品目指数を、『産業連関表』の行部門ごとに対応させて使用しています。新基準において対応する品目指数の数を現行基準と比較すると、『令和 2 年（2020 年）産業連関表』（2024 年 6 月公表）において実施された行部門の統合や、使用する各物価指数の基準改定における品目統廃合の影響を受けて、すべての需要段階において減少しました（図表 2）⁵。

5. カバレッジの変化

新基準における中間需要段階の各ステージおよび最終需要段階の取引額のうち、対応する品目指数が存在する部門の取引額が占める割合（以下、カバレッジ）は、使用する物価指数の品目新設等の影響を受けて、ステージ 1 が 88%（現行基準：88%）、ステージ 2 が 81%（同：79%）、ステージ 3 が 87%（同：86%）、ステージ 4 が 88%（同：87%）、最終需要（含む輸出）が 69%（同：63%）となりました⁶。その結果、最終需要・中間需要物価指数全体のカバレッジは、76%（同：72%）と拡

³ 最終需要・中間需要物価指数では、4 つのステージ区分を以下のように定義しています。

ステージ 4：産出額のうち、X%以上が、最終需要段階で需要されている部門

ステージ 3：産出額のうち、Y%以上が、最終需要ないしステージ 4 により需要されており、ステージ 4 に含まれない部門

ステージ 2：産出額のうち、Z%以上が、最終需要、ステージ 4、ステージ 3 により需要されており、ステージ 4、ステージ 3 に含まれない部門

ステージ 1：上記のいずれにも該当しない部門

⁴ ステージの詳細は、以下のページに掲載されている「FD-ID ステージ表」を参照。

https://www.boj.or.jp/statistics/outline/exp/pi/fdid_2020/index.htm

⁵ 現行基準の公表開始時点において対応させていた品目指数の数と、新基準において対応させている品目指数の数を比較したもの。

⁶ 同一ステージ内の取引額を控除した後の取引額。

大しました。

6. 新旧基準指数の比較

新基準における中間需要段階の各ステージおよび最終需要段階の総合指数を現行基準と比較すると、以下のとおりです（図表 3）。

① ステージ 1

指数の水準は、現行基準対比、2021 年以降、総じて上振れました。その結果、新旧指数の乖離幅は、月次平均で+3.5 ポイントとなりました。前年比は、2021 年から 2022 年にかけて上振れました。

② ステージ 2

指数の水準は、現行基準対比、2021 年から 2023 年にかけて上振れました。その結果、新旧指数の乖離幅は、月次平均で+0.7 ポイントとなりました。前年比は、2021 年から 2022 年にかけて上振れた後、2023 年以降は下振れました。

③ ステージ 3

指数の水準は、現行基準対比、2021 年以降、総じて下振れました。その結果、新旧指数の乖離幅は、月次平均で▲2.1 ポイントとなりました。前年比は、2021 年から 2023 年初にかけて下振れました。

④ ステージ 4

指数の水準は、現行基準対比、2022 年以降、総じて上振れました。その結果、新旧指数の乖離幅は、月次平均で+0.7 ポイントとなりました。前年比は、総じて上振れました。

⑤ 最終需要（除く輸出）

指数の水準は、現行基準対比、2021 年以降、総じて下振れました。その結果、新旧指数の乖離幅は、月次平均で▲0.3 ポイントとなりました。前年比は、2021 年後半から 2023 年初にかけて下振れました。

⑥ 最終需要（含む輸出）

指数の水準は、現行基準対比、2021 年以降、総じて下振れました。その結果、新旧指数の乖離幅は、月次平均で▲0.8 ポイントとなりました。前年比は、2023 年央まで総じて下振れました。

以 上

(図表 1)

中間需要段階および最終需要段階におけるウェイト

(百分比)

	2020 年基準 (a)	2015 年基準 (b)	変化幅 (a) - (b)
ステージ 1	100.000	100.000	0.000
財	67.584	68.573	▲0.989
国内財	24.725	22.258	+2.467
食料品	0.929	0.949	▲0.020
エネルギー	6.693	4.256	+2.437
その他財	17.103	17.053	+0.050
輸入財	42.859	46.315	▲3.456
食料品	1.894	1.666	+0.228
エネルギー	29.286	32.358	▲3.072
その他財	11.679	12.291	▲0.612
サービス	32.416	31.427	+0.989
商業サービス	6.183	3.720	+2.463
運輸サービス	3.268	6.423	▲3.155
その他サービス	22.965	21.284	+1.681
ステージ 2	100.000	100.000	0.000
財	40.947	46.248	▲5.301
国内財	20.011	23.999	▲3.988
食料品	1.866	1.908	▲0.042
エネルギー	6.317	7.809	▲1.492
その他財	11.828	14.282	▲2.454
輸入財	20.936	22.249	▲1.313
食料品	0.819	0.932	▲0.113
エネルギー	9.694	11.893	▲2.199
その他財	10.423	9.424	+0.999
サービス	59.053	53.752	+5.301
商業サービス	0.682	6.481	▲5.799
運輸サービス	10.047	4.725	+5.322
その他サービス	48.324	42.546	+5.778
ステージ 3	100.000	100.000	0.000
財	55.029	62.336	▲7.307
国内財	43.886	48.709	▲4.823
食料品	7.580	8.202	▲0.622
エネルギー	4.699	6.470	▲1.771
その他財	31.607	34.037	▲2.430
輸入財	11.143	13.627	▲2.484
食料品	1.748	2.049	▲0.301
エネルギー	0.093	0.784	▲0.691
その他財	9.302	10.794	▲1.492
サービス	44.971	37.664	+7.307
商業サービス	7.308	6.054	+1.254
運輸サービス	5.279	4.893	+0.386
その他サービス	32.384	26.717	+5.667

中間需要段階および最終需要段階におけるウェイト（続き）

（百分比）

	2020 年基準 (a)	2015 年基準 (b)	変化幅 (a) - (b)
ステージ 4	100.000	100.000	0.000
財	53.981	57.408	▲3.427
国内財	46.198	47.831	▲1.633
食料品	4.730	5.816	▲1.086
エネルギー	4.347	4.962	▲0.615
その他財	37.121	37.053	+ 0.068
輸入財	7.783	9.577	▲1.794
食料品	1.648	1.712	▲0.064
エネルギー	0.231	0.217	+ 0.014
その他財	5.904	7.648	▲1.744
サービス	46.019	42.592	+ 3.427
商業サービス	7.222	9.007	▲1.785
運輸サービス	5.284	4.302	+ 0.982
その他サービス	33.513	29.283	+ 4.230
最終需要（除く輸出）	84.065	80.371	+ 3.694
財	30.860	34.412	▲3.552
国内財	23.964	26.359	▲2.395
食料品	8.020	8.271	▲0.251
エネルギー	3.260	3.935	▲0.675
その他財	12.684	14.153	▲1.469
輸入財	6.896	8.053	▲1.157
食料品	0.531	0.623	▲0.092
エネルギー	0.072	0.103	▲0.031
その他財	6.293	7.327	▲1.034
サービス	53.205	45.959	+ 7.246
商業サービス	5.756	6.075	▲0.319
運輸サービス	3.880	4.741	▲0.861
その他サービス	43.569	35.143	+ 8.426
最終需要（含む輸出）	100.000	100.000	0.000
財	46.795	54.041	▲7.246
国内財	23.964	26.359	▲2.395
食料品	8.020	8.271	▲0.251
エネルギー	3.260	3.935	▲0.675
その他財	12.684	14.153	▲1.469
輸入財	6.896	8.053	▲1.157
食料品	0.531	0.623	▲0.092
エネルギー	0.072	0.103	▲0.031
その他財	6.293	7.327	▲1.034
輸出財	15.935	19.629	▲3.694
食料品	0.000	0.000	0.000
エネルギー	0.336	0.477	▲0.141
その他財	15.599	19.152	▲3.553
サービス	53.205	45.959	+ 7.246
商業サービス	5.756	6.075	▲0.319
運輸サービス	3.880	4.741	▲0.861
その他サービス	43.569	35.143	+ 8.426

(図表 2)

使用している品目指数の数

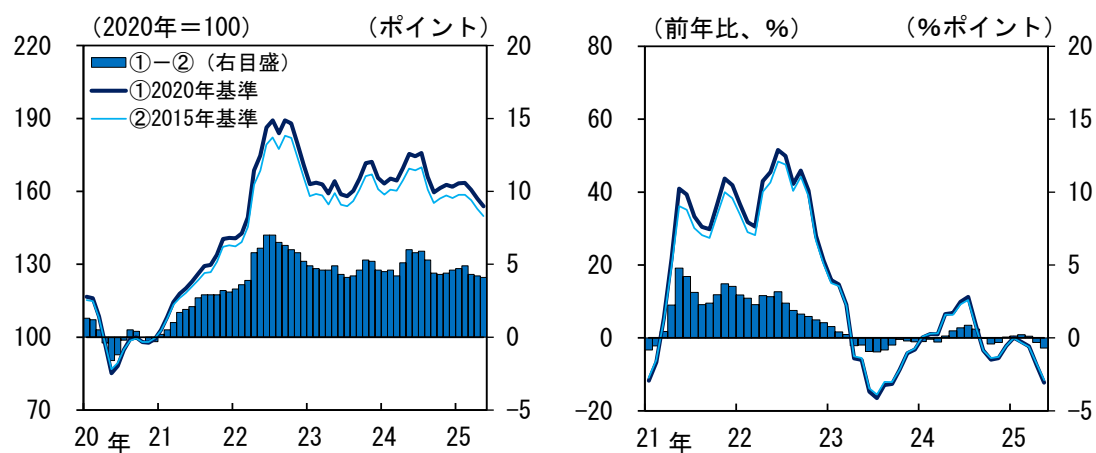
	ステージ 1			ステージ 4		
	2020 年基準 (a)	2015 年基準 (b)	変化数 (a) - (b)	2020 年基準 (a)	2015 年基準 (b)	変化数 (a) - (b)
PPI	420	559	▲139	360	523	▲163
IPI	176	205	▲29	171	203	▲32
EPI	0	0	0	0	0	0
SPPI	86	108	▲22	139	143	▲4
CPI	71	38	+ 33	22	8	+ 14
合計	753	910	▲157	692	877	▲185
	ステージ 2			最終需要（含む輸出）		
	2020 年基準 (a)	2015 年基準 (b)	変化数 (a) - (b)	2020 年基準 (a)	2015 年基準 (b)	変化数 (a) - (b)
PPI	255	396	▲141	339	459	▲120
IPI	163	199	▲36	133	169	▲36
EPI	0	0	0	183	207	▲24
SPPI	101	82	+ 19	62	54	+ 8
CPI	62	41	+ 21	165	126	+ 39
合計	581	718	▲137	882	1,015	▲133
	ステージ 3			中間需要＋最終需要		
	2020 年基準 (a)	2015 年基準 (b)	変化数 (a) - (b)	2020 年基準 (a)	2015 年基準 (b)	変化数 (a) - (b)
PPI	322	437	▲115	515	743	▲228
IPI	165	202	▲37	209	256	▲47
EPI	0	0	0	183	207	▲24
SPPI	121	117	+ 4	152	151	+ 1
CPI	50	31	+ 19	166	126	+ 40
合計	658	787	▲129	1,225	1,483	▲258

(注) 2015 年基準の品目指数の数は、2015 年基準の公表開始時点において対応させていた品目指数の数。

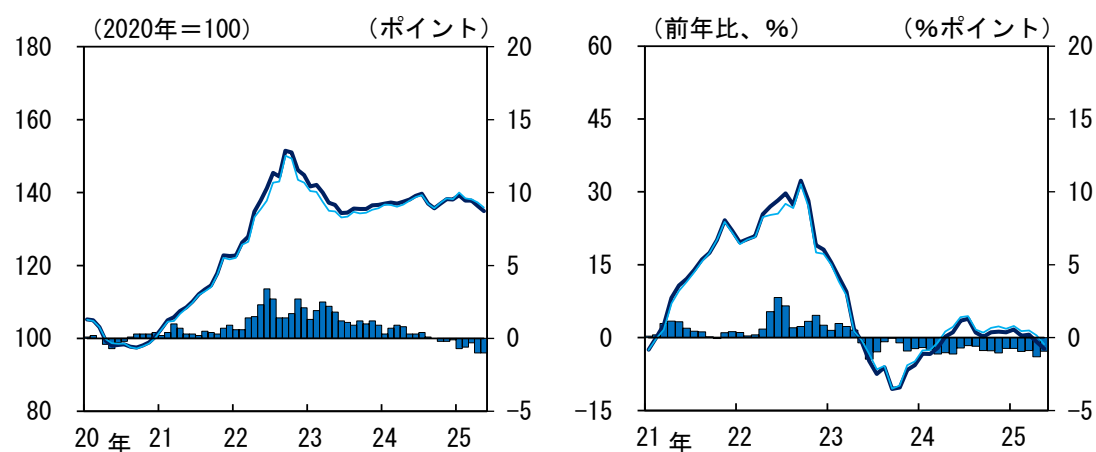
(図表 3)

新旧基準指数の比較

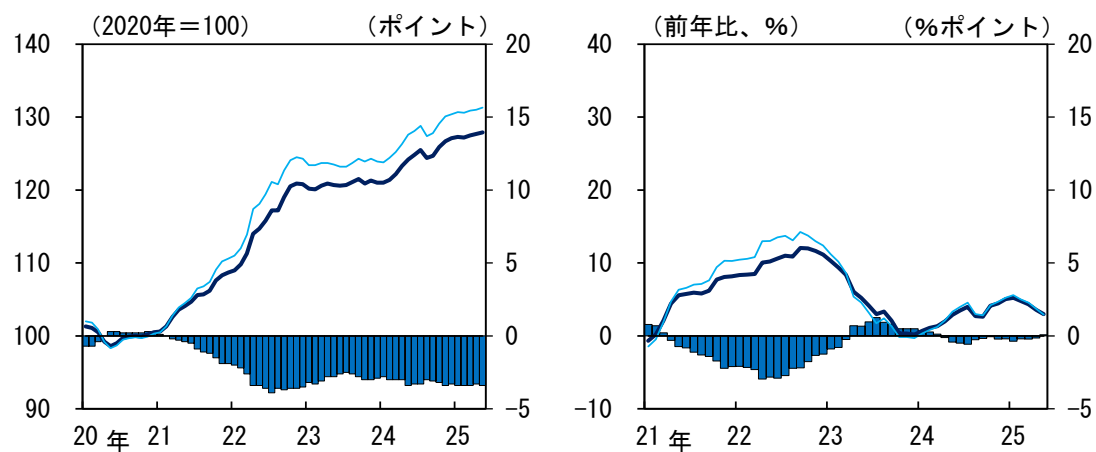
① 中間需要（ステージ 1）



② 中間需要（ステージ 2）

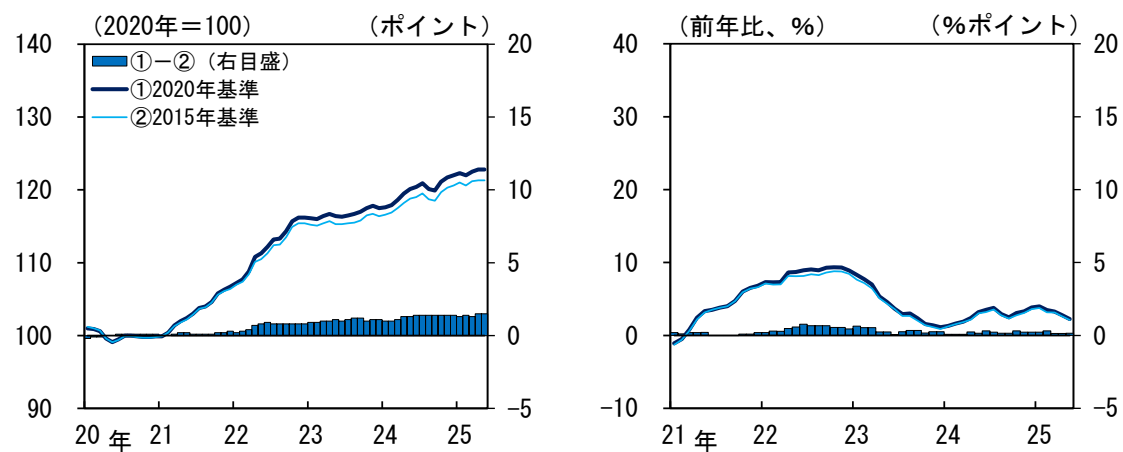


③ 中間需要（ステージ 3）

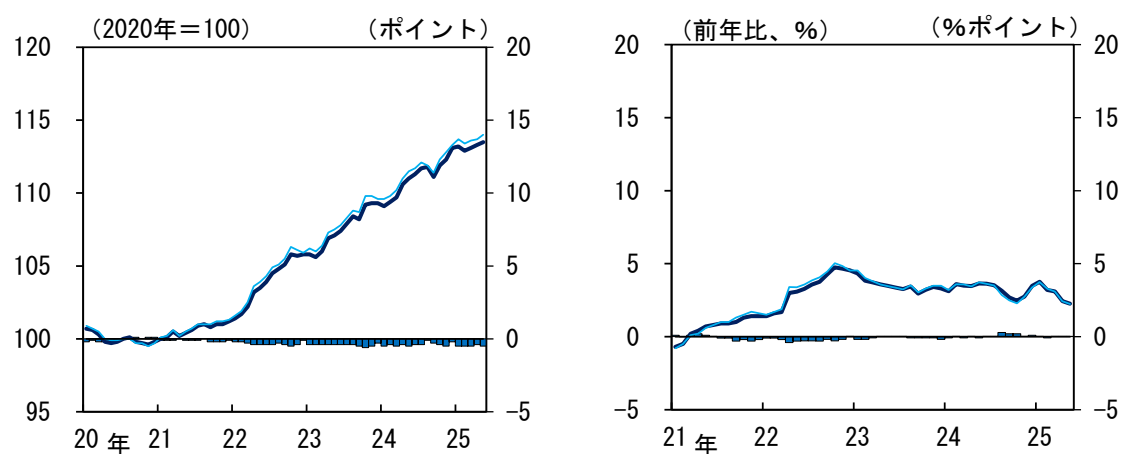


新旧基準指数の比較（続き）

④ 中間需要（ステージ 4）



⑤ 最終需要（除く輸出）



⑥ 最終需要（含む輸出）

